



ハードウェア リファレンス ガイド

HP EliteOne 800 G4 All-in-One Business PC

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HP Development Company の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。


改訂第 1 版 : 2018 年 6 月


初版 : 2018 年 6 月


製品番号 : L19726-292

このガイドについて

このガイドでは、このコンピューターの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

 **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

 **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

 **注記：** 重要な補足情報です。

目次

1 製品の特長	1
概要	1
HP EliteOne 800 G4 前面の各部	1
HP EliteOne 800 G4 Healthcare 前面の各部	2
上面の各部	3
赤外線 (IR) Web カメラ (オプション)	3
FHD (Full High Definition) Web カメラ (オプション)	3
側面の各部	4
背面の各部	5
底面の各部	5
キーボードの機能	6
ラベル	7
2 セットアップ	8
概要	8
スタンドの取り付けおよび取り外し	9
リクライニング スタンドの取り付けおよび取り外し	9
リクライニング スタンドの取り付け	9
リクライニング スタンドの取り外し	9
高さ調節可能なスタンドの取り付けおよび取り外し	10
高さ調節可能なスタンドの取り付け	10
高さ調節可能なスタンドの取り外し	11
固定器具へのコンピューターの取り付け	12
ケーブルの接続および取り外し	13
ケーブルの接続	13
ディスプレイの接続	13
ケーブルの取り外し	14
背面コネクタ カバーの取り外しおよび取り付け	15
背面コネクタ カバーの取り外し	15
背面コネクタ カバーの取り付け	15
コンピューターの位置調整	16
リクライニング スタンドの調整	16
高さ調節可能なスタンドの調整	18
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	21
電源の接続および切断	21

電源の接続	21
電源の切断	22
Web カメラ	22
Web カメラの操作	22
[Windows Hello]の設定	22
RFID の使用（一部の製品のみ）	23
別売の無線キーボードおよびマウスの同期	24

3 ハードウェアの修理およびアップグレード 26

警告および注意	26
追加情報	26
オプションの無線キーボードおよびマウスの電池の取り外し	27
コンピューターのアクセスパネルの取り外しおよび取り付け	28
コンピューターのアクセスパネルの取り外し	28
コンピューターのアクセスパネルの取り付け	29
内部部品の位置	30
メモリの取り外しおよび取り付け	31
メモリ モジュールの仕様	31
メモリ モジュール スロットへの取り付け	32
メモリ モジュールの取り付け	32
RTC（リアルタイムクロック）電池の交換	33
ドライブの交換	34
ハードディスク ドライブの交換	34
ハードディスク ドライブの取り外し	35
2.5 インチ ハードディスク ドライブの取り付け	36
オプティカルディスク ドライブの交換	37

付録 A 静電気対策 39

静電気による損傷の防止	39
アース（接地）の方法	39

付録 B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意 40

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意	40
オプティカルディスク ドライブの使用上の注意	41
運搬時の注意	42


付録 C ユーザー サポート 43

サポートされている支援技術	43
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	43

1 製品の特長

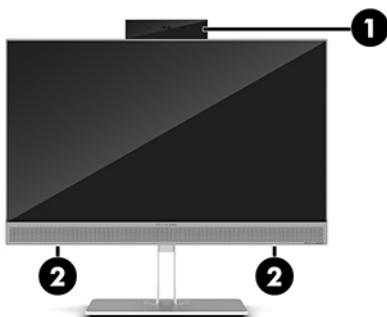
概要



 **注記:** この製品の最新のマニュアルについて詳しくは、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

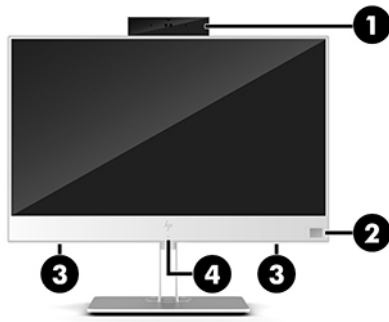
この製品では、規制関連のマークおよび情報が電子ラベルに記載されています。表示方法については、[7ページのラベル](#)を参照してください。

HP EliteOne 800 G4 前面の各部



名称	
1	Web カメラ (オプション)
2	スピーカー (×2) (一部の製品のみ)

HP EliteOne 800 G4 Healthcare 前面の各部



名称	名称
1 Web カメラ (オプション)	3 スピーカー (×2)
2 指紋認証システム (一部の製品のみ)	4 RFID (Radio Frequency IDentification : 無線自動識別) タップエリアおよびアンテナ*

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。送受信が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

このガイドを表示するには、以下の操作を行います。

▲ **【スタート】ボタン**→**【HP Help and Support】** (HP ヘルプとサポート) →**【HP Documentation】** (HP ドキュメント) の順に選択します。

または

▲ **【スタート】ボタン**→**【HP】**→**【HP Documentation】**の順に選択します。

上面の各部

赤外線（IR）Web カメラ（オプション）



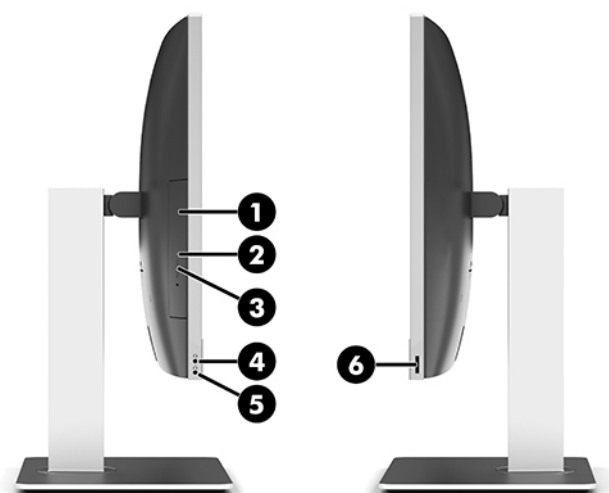
名称		名称	
正面図			
1	Web カメラランプ	4	赤外線 Web カメラ
2	赤外線ランプ	5	背面 Web カメラ調整ホイール
3	FHD（Full High Definition）Web カメラ		
上面図			
6	デジタルマイク		
背面図			
7	Web カメラランプ	8	FHD Web カメラ

FHD（Full High Definition）Web カメラ（オプション）



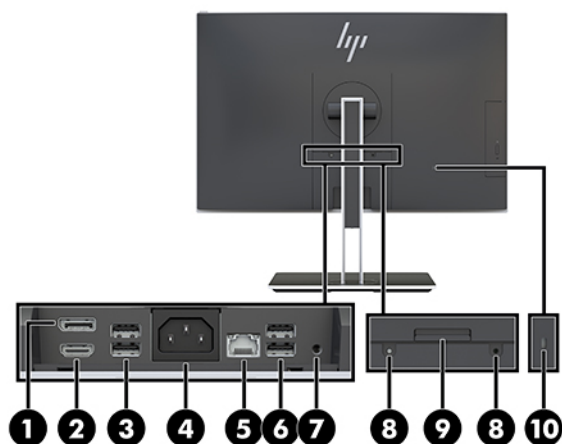
名称	
正面図	
1	Web カメラランプ
2	FHD Web カメラ
上面図	
3	デジタルマイク

側面の各部



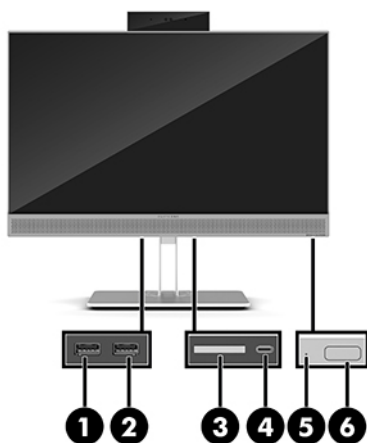
名称	名称
1 オプティカルディスクドライブ (オプション)	4 オーディオ出力 (ヘッドフォン) /オーディオ入力 (マイク) コンボ コネクタ
2 オプティカルディスクドライブランプ (一部の製品のみ)	5 オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ
3 オプティカルディスクドライブイジェクトボタン (オプション)	6 指紋認証システム (一部の製品のみ)

背面の各部



名称	名称
1 DisplayPort	6 USB 3.1 Type-A ポート (×2)
2 HDMI 出力端子	7 ステレオ オーディオ出力コネクタ
3 USB 3.1 Type-A ポート (×2)	8 セキュリティ ロック ネジ
4 電源コネクタ	9 スタンドリリース
5 RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	10 セキュリティ ロック ケーブル用スロット

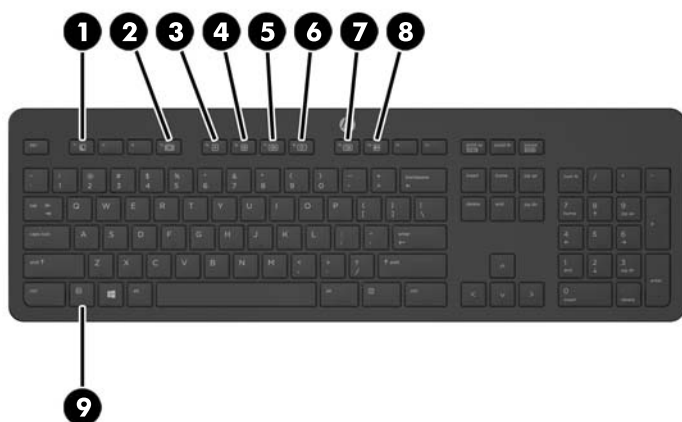
底面の各部



名称	名称
1 USB 3.1 Type-A ポート	4 USB 3.1 Type-C ポート
2 USB 3.1 Type-A ポート (電源オフ USB 充電機能対応)	5 ハードディスクドライブランプ
3 SD カードスロット	6 電源ボタン

キーボードの機能

お使いのキーボードおよびマウスとは異なる場合があります。



名称	名称
1 スリープ	6 音量ミュート（消音）
2 巻き戻し	7 音量ダウン
3 再生/一時停止	8 音量アップ
4 停止	9 ファンクション
5 早送り	

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するために問い合わせたり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な基本情報が記載されています。

重要：このセクションで説明するすべてのラベルは、スタンドの下かコンピューターの底部に貼付されています。



1. Microsoft® Certificate of Authenticity ラベル (Windows® 8 より前の一部のモデルのみ) : Windows のプロダクトキーが記載されています。プロダクトキーは、オペレーティングシステムの更新やトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。Windows 8 または Windows 8.1 がプリインストールされている HP プラットフォームには紙のラベルはなく、電子的な Digital Product Key がインストールされています。

注記：この Digital Product Key は、HP によって承認されている復元方法で Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティングシステムを再インストールしたときに、Microsoft オペレーティングシステムによって自動的に認識され、有効になります。

2. サービスラベル：お使いのコンピューターを識別するための重要な情報が記載されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、シリアル番号や、製品番号またはモデル番号を尋ねられることがあります。HP のサポート窓口にお問い合わせになる前に、これらの番号を確認しておいてください。



名称

(1) シリアル番号

(2) 製品番号

(3) 保証期間

3. シリアル番号ラベル

2 セットアップ

概要

以下の順序でコンピューターをセットアップします。

- スタンドを取り付けます。 [9 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。
または
コンピューターを固定器具に取り付けます。 [12 ページの固定器具へのコンピューターの取り付け](#)を参照してください。
- 周辺機器および電源用のケーブルを接続します。 [13 ページのケーブルの接続および取り外し](#)を参照してください。
- 必要に応じて、追加のディスプレイを接続します。 [13 ページのディスプレイの接続](#)を参照してください。
- 背面コネクタカバーを取り付けて固定します。 [15 ページの背面コネクタカバーの取り付け](#)を参照してください。
- コンピューターの向きと表示角度を、見やすくなるように選択します。 [16 ページのコンピューターの位置調整](#)を参照してください。
- 安全のためにセキュリティロックケーブルを取り付けます。 [21 ページのセキュリティロックケーブルの取り付け](#)を参照してください。
- 電源を入れます [21 ページの電源の接続](#)を参照してください。
- マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。マウスとキーボードを同期しなおす必要がある場合、 [24 ページの別売の無線キーボードおよびマウスの同期](#)を参照してください。

スタンドの取り付けおよび取り外し

このコンピューターでは、以下の2つのスタンドが利用できます。

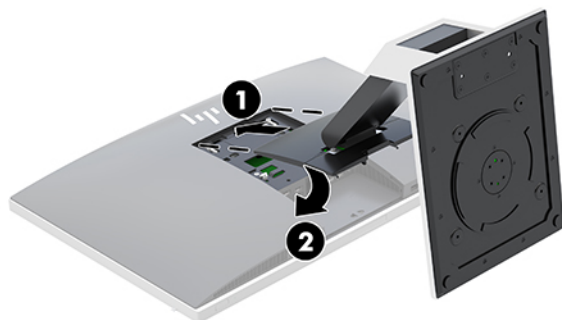
- [リクライニングスタンドの取り付けおよび取り外し](#)
- [高さ調節可能なスタンドの取り付けおよび取り外し](#)

リクライニングスタンドの取り付けおよび取り外し

リクライニングスタンドの取り付け

スタンドを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. スタンド上部のフックを、コンピューターの背面上部の2つの大きな穴にはめ込みます (1)。
3. スタンドをコンピューターに向けて押し下げ、カチッというまで押し込みます (2)。

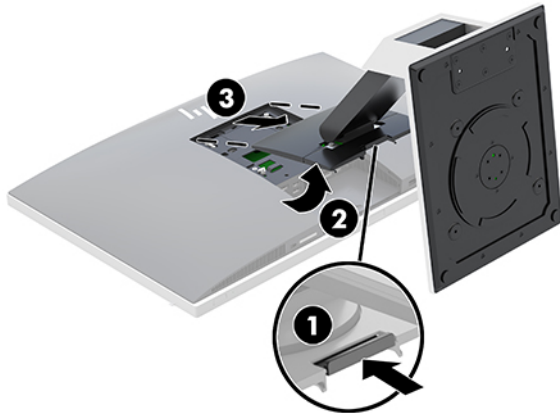


リクライニングスタンドの取り外し

スタンドを取り外すには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクやUSBフラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
5. 背面コネクタカバーを取り付けている場合は、取り外します。詳しくは、[15ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。

6. スタンドの下にあるリリースラッチを押します (1)。
7. スタンドを持ち上げて (2)、スタンドのフックをコンピューターから引き抜きます (3)。

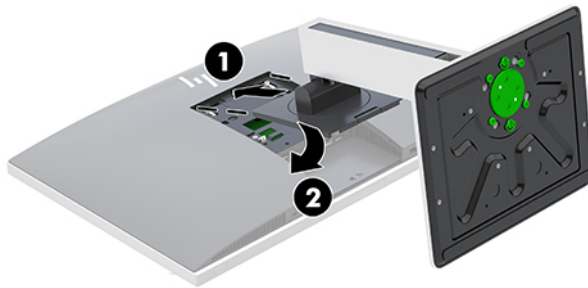


高さ調節可能なスタンドの取り付けおよび取り外し

高さ調節可能なスタンドの取り付け

スタンドを取り付けるには、以下の操作を行います。

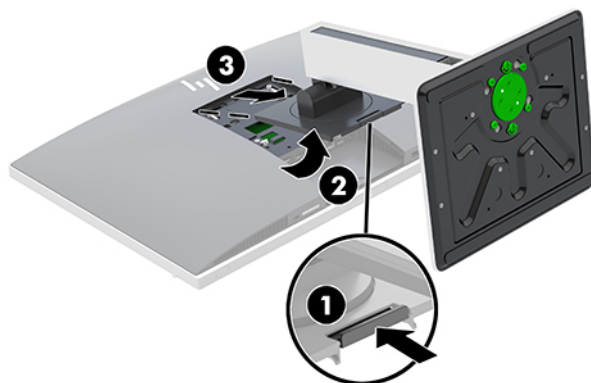
1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. スタンド上部のフックを、コンピューターの背面上部の2つの大きな穴にはめ込みます (1)。
3. スタンドをコンピューターに向けて押し下げ、カチッというまで押し込みます (2)。



高さ調節可能なスタンドの取り外し


スタンドを取り外すには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクやUSBフラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
5. 背面コネクタカバーを取り付けている場合は、取り外します。詳しくは、[15ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。
6. スタンドの下にあるリリースラッチを押します (1)。
7. スタンドを持ち上げて (2)、スタンドのフックをコンピューターから引き抜きます (3)。

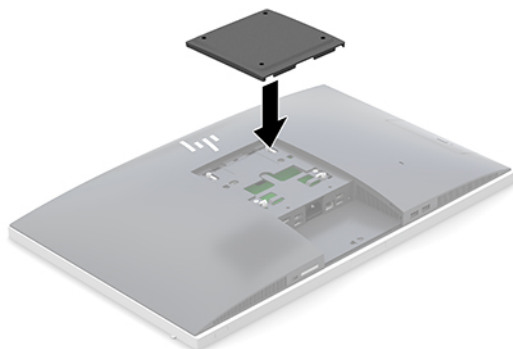


固定器具へのコンピューターの取り付け


コンピューターを、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記：**この装置は、UL または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

1. VESA 準拠の付属のトリムプレートが正しい位置に固定されるまで、VESA 準拠の開口部に押しつけます。



2. コンピューターをスイングアーム（別売）に取り付けるには、コンピューターに付属する 4 本の 20 mm ネジを、スイングアームプレートにある穴に通してからコンピューターのネジ穴に差し込みます。

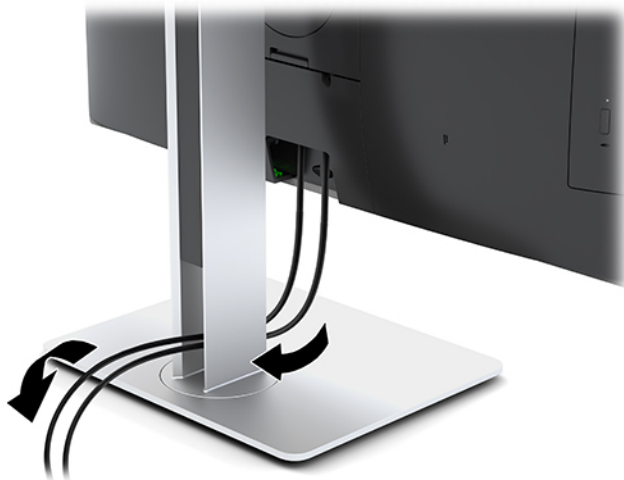
 **注意：**このコンピューターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このコンピューターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 20 mm のネジを使用する必要があります。これらのネジは、コンピューターに付属しています。これより長いネジは、コンピューターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、コンピューターの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、コンピューターに付属の電源コードおよびその他のケーブルを使用してください。

コンピューターを他の固定器具に取り付けるには、固定器具に付属の説明書に沿って操作して、コンピューターを安全に取り付けてください。

ケーブルの接続および取り外し

ケーブルの接続

1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. 背面コネクタカバーを取り付けている場合は、取り外します。
[15 ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。
3. 電源ケーブルおよび周辺機器のケーブルがスタンド台の開口部を通るように配線します。



4. 周辺機器のケーブルを適切なコネクタに接続します。
5. 背面コネクタカバーを取り付けなおします。
[15 ページの背面コネクタカバーの取り付け](#)を参照してください。
6. 電源コードをコンピューター背面の電源コネクタに差し込みます。


ディスプレイの接続

コンピューター背面の DisplayPort および HDMI 出力端子を使用すると、ディスプレイをコンピューターに接続できます。

- お使いのコンピューターにインテルグラフィックスが搭載されている場合は、以下のどちらかの構成で最大 2 台のディスプレイを接続できます。
 - 2 台のディスプレイを DisplayPort にデジーチェーン接続
 - DisplayPort および HDMI 出力端子にディスプレイを 1 台ずつ接続
- お使いのコンピューターに AMD グラフィックスが搭載されている場合は、以下のどちらかの構成で最大 4 台のディスプレイを接続できます。
 - 4 台のディスプレイをすべて DisplayPort にデジーチェーン接続
 - 3 台のディスプレイを DisplayPort にデジーチェーン接続し、1 台のディスプレイを HDMI 出力端子に接続

追加するディスプレイに DisplayPort または HDMI 入力端子が装備されている場合は、ビデオアダプターは必要ありません。追加するディスプレイに DisplayPort または HDMI 入力端子が装備されていない場合は、お使いの構成に適したビデオアダプターを別途用意する必要があります。

DisplayPort アダプター、HDMI アダプター、およびビデオケーブルは別売です。HP では、以下のアダプターを提供しています。

 **注記：** 取り扱い製品は国や地域によって異なります。

- DisplayPort - VGA アダプター
- DisplayPort - DVI アダプター
- HDMI - VGA アダプター
- HDMI - DVI アダプター

ディスプレイを接続するには、以下の操作を行います。


1. コンピューターおよびコンピューターに接続するディスプレイの電源を切ります。
2. コンピューターの背面コネクタカバーを取り外します。
3. ディスプレイに DisplayPort が備わっている場合は、コンピューター背面の DisplayPort とディスプレイの DisplayPort を DisplayPort ケーブルで直接接続します。

ディスプレイに HDMI 入力端子が備わっている場合は、コンピューター背面の HDMI 出力端子とディスプレイの HDMI 入力端子を HDMI ケーブルで直接接続します。

4. ディスプレイに DisplayPort が装備されていない場合は、DisplayPort ビデオアダプターをコンピューターの DisplayPort に接続します。次に、アダプターとディスプレイの間を構成等に応じて VGA または DVI ケーブルで接続します。

ディスプレイに HDMI 入力端子が装備されていない場合は、HDMI ビデオアダプターをコンピューターの HDMI 出力端子に接続します。次に、アダプターとディスプレイの間を構成等に応じて VGA または DVI ケーブルで接続します。

5. コンピューターの背面コネクタカバーを取り付けなおします。
6. コンピューターおよびディスプレイの電源を入れます。

 **注記：** グラフィックスカードのソフトウェアまたは Windows の[画面の設定]を使用して、ディスプレイにコンピューターのディスプレイと同じ画面を表示するか、コンピューターディスプレイの画面を広げるように設定できます。

ケーブルの取り外し

1. コンピューター背面にセキュリティロックケーブルを取り付けている場合は、セキュリティロックケーブルを取り外す必要があることがあります。
2. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
3. 背面コネクタカバーを取り付けている場合は、取り外します。
4. コネクタからケーブルを取り外します。

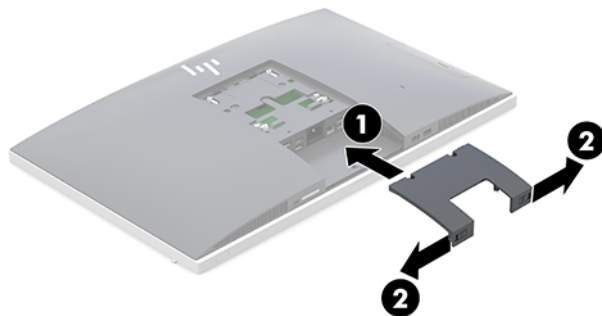
背面コネクタ カバーの取り外しおよび取り付け

背面コネクタ カバーの取り外し

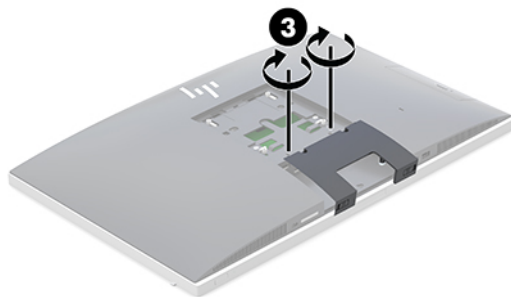
1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. セキュリティ ロック ネジが固定されている場合は、不正開封防止ネジ用ドライバー (T15) を使用して、両方のネジを取り外します (1)。
3. 背面コネクタ カバーを固定している両サイドのタブを内側にスライドさせ (2)、コネクタ カバーの固定を解除します。
4. コネクタ カバーを引き下げてコンピューターから取り外します (3)。

背面コネクタ カバーの取り付け

1. すべてのケーブルが接続されていることを確認します。
2. コンピューターと平行になるようにコネクタ カバーを持ち、コネクタ カバーの 2 つのタブを背面コネクタ コンパートメントの上部にあるスロットに合わせます。
3. カチッという音がしてタブが固定されるまで、コネクタ カバー (1) をスライドさせます。
4. コネクタ カバーを固定する両サイドのタブを外側にスライドさせ (2)、コネクタ カバーを固定します。



5. 背面コネクタ カバーを固定することにより、内部の部品およびコネクタへのアクセスを防ぐことができます。不正開封防止ネジ用ドライバー (T15) を使用して、2 本のセキュリティ ロック ネジをシャーシに固定します (3)。



コンピューターの位置調整

このコンピューターには、モデルによりリクライニング スタンドまたは高さ調節可能なスタンドが付属しています。

- [リクライニング スタンドの調整](#)
- [高さ調節可能なスタンドの調整](#)

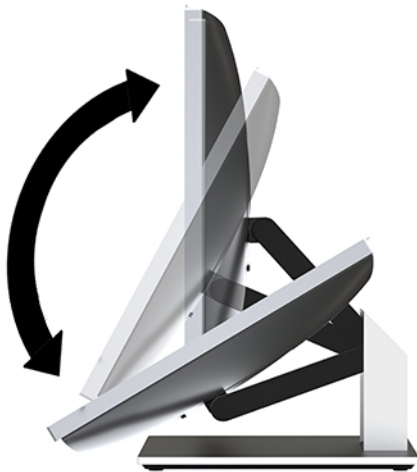
リクライニング スタンドの調整

△注意：ロック ケーブルが取り付けられている場合は、コンピューターのリクライニングを慎重に行ってください。ケーブルまたはロックが、回転やリクライニングの角度調整の妨げとなることがあります。

このスタンドでは、リクライニングの位置から直立する位置までコンピューターの位置を変えることができます。

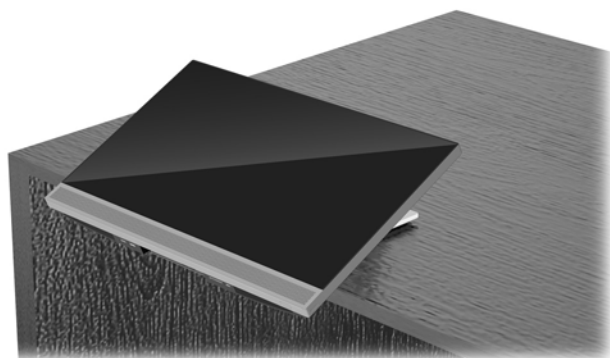
コンピューターの位置をリクライニングの位置から直立する位置に調整するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの上部と下部の両方をつかみ、コンピューターをもっとも高い位置まで引き上げます。
2. コンピューターの下部を押し下げて、適切な傾斜角度になるよう調整します。



コンピューターの位置を直立する位置からリクライニングの位置に調整するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの下部を上部と同じ高さになるまで引き上げます。
2. コンピューターの上部と下部の両方をつかみ、目的の高さまでコンピューターを押し下げます。



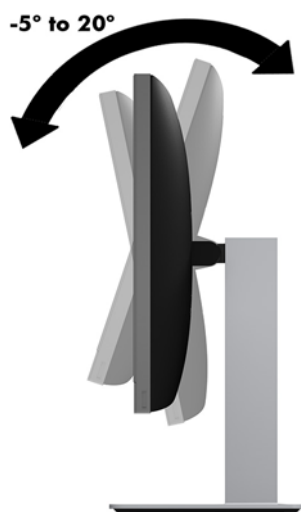
高さ調節可能なスタンドの調整

⚠ **注意**：ロックケーブルが取り付けられている場合は、コンピューターの回転またはリクライニングを慎重に行ってください。ケーブルまたはロックが、回転やリクライニングの角度調整の妨げとなることがあります。

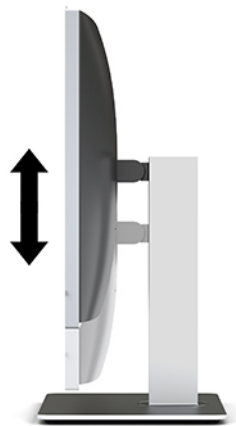
このスタンドでは、以下の操作ができます。

- コンピューターをデスクトップの位置から-5°~20°まで傾斜させる
- コンピューターの高さを上下 11 cm の範囲で調節する
- コンピューターの向きを横向きから縦向きに回転する
- コンピューターを左右に最大 45°回転する


コンピューターの傾斜角度を調整するには、コンピューターの上部和下部をつかみ、適切な傾斜角度に調整します。



コンピューターの高さを変更するには、コンピューターの両方の側面をつかみ、適切な高さまで持ち上げるか引き下げます。




コンピューターのリクライニングを行うには、以下の操作を行います。

 **重要**：ロックケーブルが取り付けられている場合、縦向きモードでのリクライニングには制限があります。

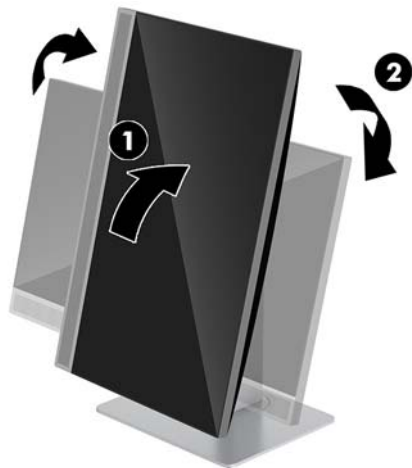
1. スタンドを机の縁まで移動させます。
2. コンピューターの両方の側面をつかみ、コンピューターを目的の位置まで下げます。
3. コンピューターの上部と下部の両方をつかみ、目的の傾斜角度になるようコンピューターの傾斜角度を調整します。



 **注意**：コンピューターの縦横の向きを変更する場合、コンピューターの前面にある HP のロゴが下側または左側になるようにしてください。

画面を横向きから縦向きに変更するには、以下の操作を行います。

1. 空間を確保するために、コンピューターをもっとも高い位置まで引き上げます。
2. コンピューターの右上および左下の隅をつかみ、コンピューターが縦向きの位置になるまで左下隅を引き上げます。



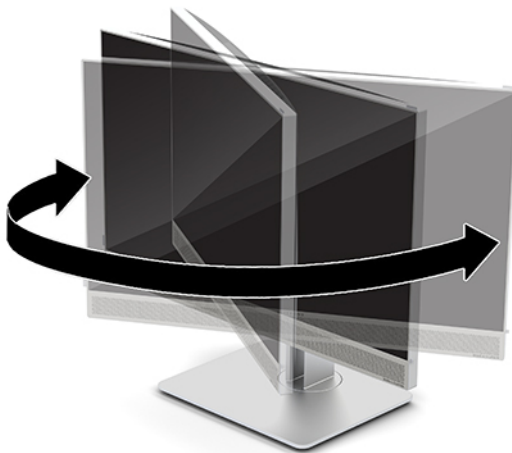
画面を縦向きから横向きに変更するには、以下の操作を行います。

1. 空間を確保するために、コンピューターをもっとも高い位置まで引き上げます。
2. コンピューターの左上および右下の隅をつかみ、コンピューターが横向きの位置になるまで右下隅を引き上げます。



コンピューターを左右に回転させるには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターの両方の側面をつかみ、左右に最大 45°まで回転させます。



セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

セキュリティロックケーブルは、鍵でロックするワイヤケーブル付きのデバイスです。ケーブルの一方の端をデスク（またはその他の固定物）に取り付け、もう一方の端をコンピューターのセキュリティロックケーブル用スロットに取り付けます。鍵をかけて、セキュリティロックケーブルを固定します。



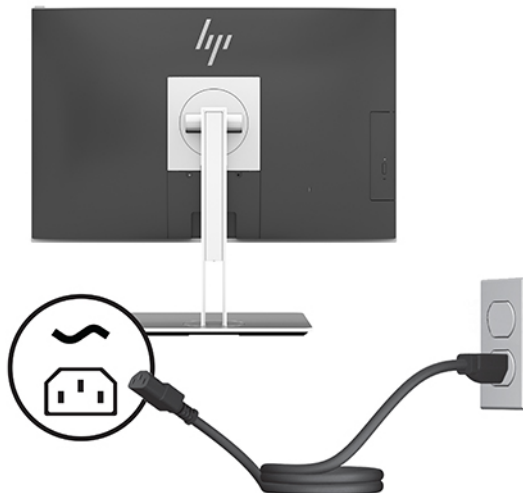
△ 注意：セキュリティロックケーブルが取り付けられている場合は、コンピューターの傾斜調整、左右方向の回転または高さ調整を慎重に行ってください。ケーブルまたはロックが調整の妨げになることがあります。

電源の接続および切断

電源の接続

1. 電源コンセントおよびコンピューターに電源コードを接続します。

📖 注記：電源コードは図と異なる場合があります。必ず製品に付属の電源コードを使用してください。



2. コンピューターの側面にある電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。

電源の切断

1. オプティカルディスクや USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

Web カメラ

[Skype for Business]が外部入力デバイスにインストールされていれば、以下の方法でモニターの Web カメラを使用できます。

- オンライン ビデオ会議のストリーミング
- インスタントメッセージの送信および受信
- ミーティングのスケジュール設定
- 会話中のセキュリティの維持

Web カメラの操作

- ▲ Web カメラを使用可能な状態にするには、カメラを押し下げてロックを解除します。
- ▲ Web カメラの使用を終了するには、ロックされるまでカメラを押し下げます。


[Windows Hello]の設定

コンピューターに Windows 10 オペレーティングシステムがインストールされている場合は、以下の手順に従って[Windows Hello]の顔認識を設定します。

1. **[スタート]**ボタン→**[設定]**→**[アカウント]**→**[サインイン オプション]**の順に選択します。
2. **[Windows Hello]**で画面の説明に沿って操作し、パスワードおよび 4 桁の PIN の両方を追加してから、指紋または顔の ID を登録します。

RFID の使用（一部の製品のみ）


お使いのコンピューターは RFID（Radio Frequency IDentification：無線自動識別）に対応しており、RFID タグまたはカードとコンピューターの間で情報を無線で共有できます。情報を転送するには、RFID タグまたはカードでコンピューターのタッチパッドのタップエリアをタップします。RFID に対応したシングルサインオンソフトウェアを使用すると、適切な RFID カードまたはタグを使用してソフトウェアアプリケーションにサインインできます。

 **注記：**お使いのコンピューターのタップエリアの位置については、[1 ページの HP EliteOne 800 G4 前面の各部](#)を参照してください。

- ▲ 情報を転送するには、RFID タグまたはカードでコンピューターのタッチパッドの RFID タップエリアをタップします。

RFID デバイスが有効になっていることを確認するには、[HP Computer Setup]（BIOS）の設定を確認します。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、HP のロゴが表示されたら **F10** キーを押して[HP Computer Setup]を起動します。
2. **[詳細設定]**（Advanced）→**[内蔵デバイス オプション]**（Built-in Device Options）の順に選択します。
3. **[RFID]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。

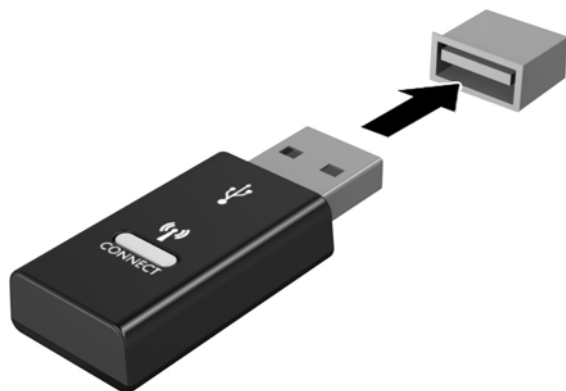
 **注記：**RFID を無効にするには、そのチェック ボックスのチェックを外します。

4. 変更を保存して[HP Computer Setup]メニューを終了するには、以下の操作を行います。
 - ▲ 画面の右下隅にある**[保存]**（Save）アイコンを選択し、画面に表示される説明に沿って操作します。
または
[メイン]（Main）→**[変更を保存して終了]**（Save Changes and Exit）の順に選択し、**enter** キーを押します。

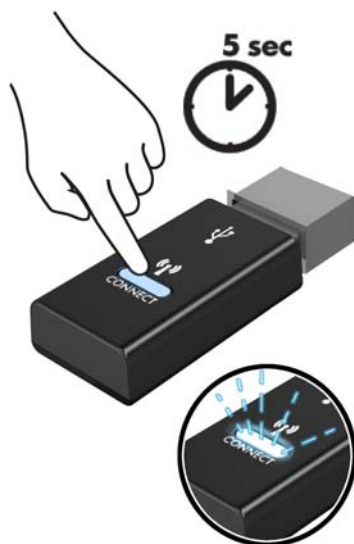
変更、保存した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

別売の無線キーボードおよびマウスの同期

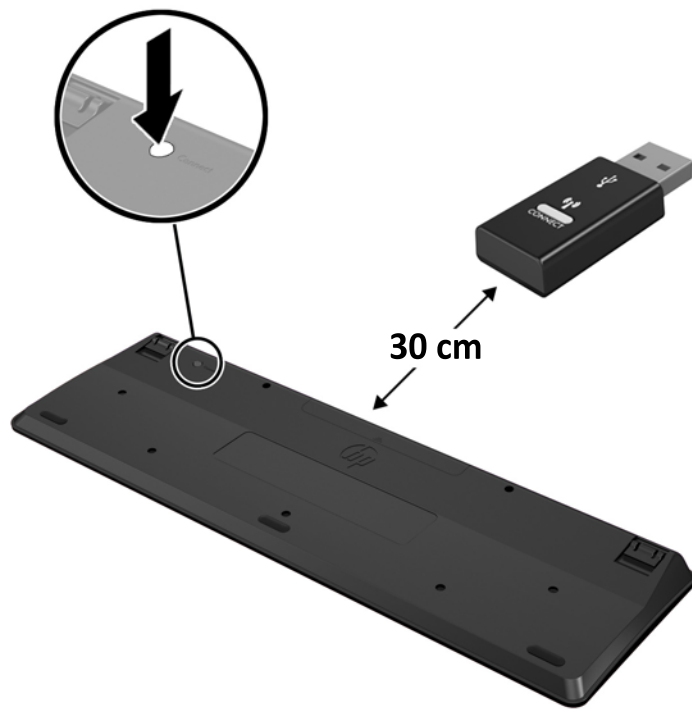
無線キーボードおよびマウスは別売のコンポーネントです。マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。これらが動作しない場合、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、以下の操作を行って、ペアリングを手動で同期しなおしてください。



1.




2.



3.



4.

 **注記：** それでもマウスおよびキーボードが動作しない場合は、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、キーボードおよびマウスの同期をやり直してください。

3 ハードウェアの修理およびアップグレード

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

⚠ 警告！ 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- カバーやパネル等を取り外す前に、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。内部には通電する部品が含まれています。
- 作業を行う前に、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 装置の電源を入れなおす前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体のリア パネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース (接地) してください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このガイドでは、正しい作業環境の整え方について説明し、快適だけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドラインを提供しています。また、電気的および物理的安全基準に関する情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択することで表示できます。


⚠ 注意： 静電気の放電によって、コンピューターや別売の電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[39 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入ってなくてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

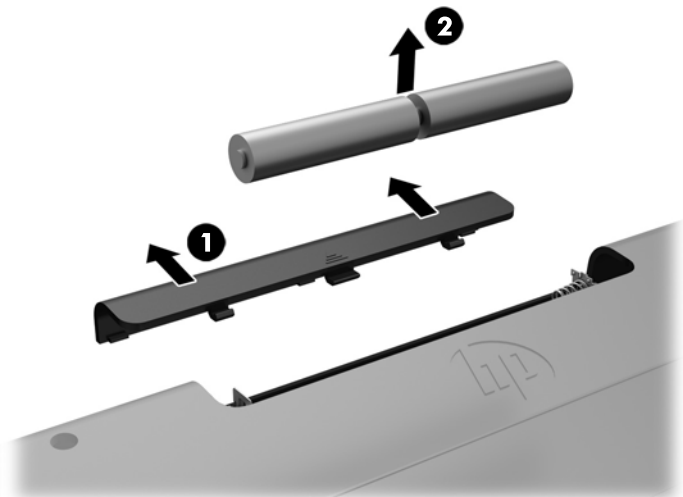
追加情報

ハードウェア コンポーネントの取り外しと取り付け、[HP Computer Setup]、およびトラブルシューティングについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/>に掲載されている、お使いのモデルのコンピューターの『Maintenance and Service Guide』(英語版のみ)を参照してください。

オプションの無線キーボードおよびマウスの電池の取り外し

 **注記：**無線キーボードおよびマウスは別売のコンポーネントです。

無線キーボードの電池を取り外すには、キーボードの底面にある電池カバーを取り外し (1)、電池を持ち上げて電池収納部分から取り出します (2)。



無線マウスの電池を取り外すには、マウスの底面にある電池カバーを取り外し (1)、電池を持ち上げて電池収納部分から取り出します (2)。



コンピューターのアクセスパネルの取り外しおよび取り付け

コンピューターのアクセスパネルの取り外し

内部部品にアクセスするには、アクセスパネルを取り外す必要があります。

1. オプティカルディスクやUSB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切ってから、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

⚠ 注意: メモリモジュールの取り付けまたは取り外しを行う場合は、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリモジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリモジュールの着脱を行うと、メモリモジュールまたはシステムボードを完全に破損するおそれがあります。

4. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティデバイスをすべて取り外します。
5. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
6. 背面コネクタカバーを取り外します。

[15 ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。

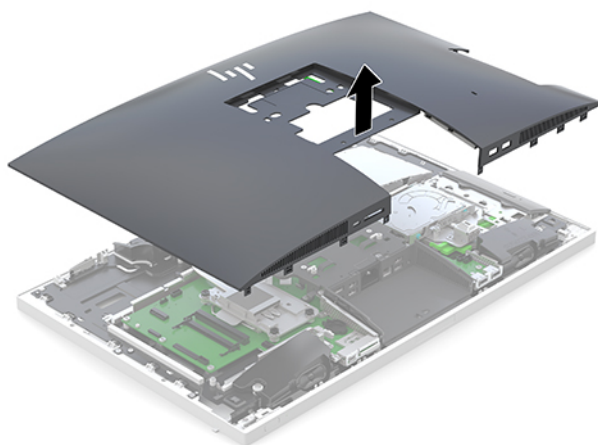
7. コンピューターに接続されているケーブルを取り外します。

[14 ページのケーブルの取り外し](#)を参照してください。

8. スタンドを取り外します。

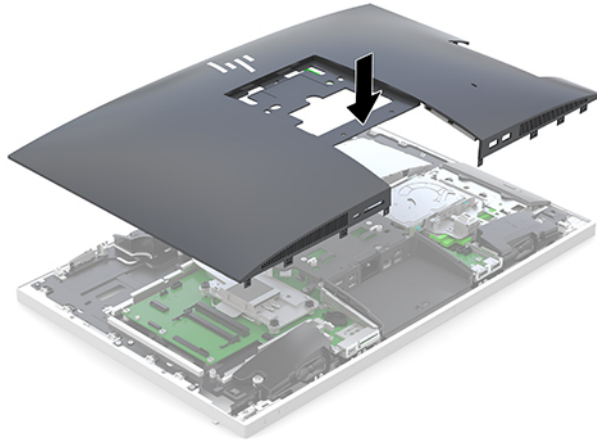
[9 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。

9. アクセスパネルの端を引き上げ、アクセスパネルをコンピューターから取り外します。



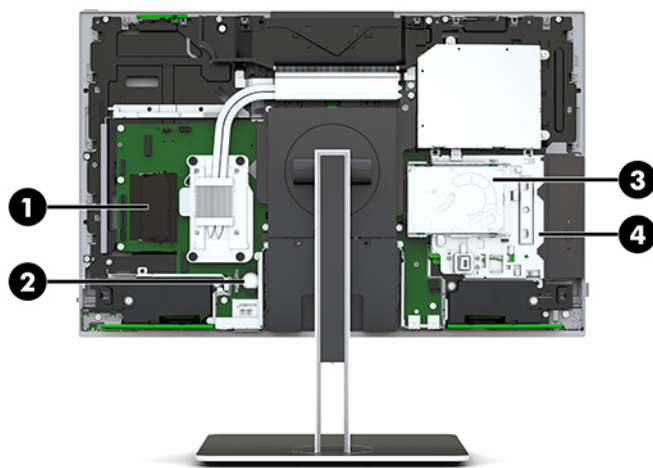
コンピューターのアクセスパネルの取り付け

1. アクセスパネルの端をコンピューターに合わせます。パネルのすべての側面のタブを押し込んで、パネルを正しい位置に固定します。



2. スタンドを取り付けなおします。
[9 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。
3. すべてのケーブルをコンピューターに接続しなおします。
[13 ページのケーブルの接続](#)を参照してください。
4. 背面コネクタ カバーを取り付けなおします。
[15 ページの背面コネクタ カバーの取り付け](#)を参照してください。
5. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。
6. コンピューターを垂直に立てます。
7. 電源コードを電源コンセントに差し込みます。

内部部品の位置



名称		名称	
1	メモリ モジュール	3	ハードディスクドライブ
2	RTC 電池	4	オプティカルディスクドライブ (オプション)

メモリの取り外しおよび取り付け

システムボード上にあるメモリスロットには、業界標準のスマートアウトラインデュアルインラインメモリモジュール (SODIMM) を2つまで取り付けることができます。これらのメモリスロットには、少なくとも1つのメモリモジュールが標準装備されています。

メモリモジュールの仕様

システムのパフォーマンスを最大まで高めるには、以下の仕様を満たすメモリモジュールを使用することをおすすめします。

項目	仕様
メモリモジュール	1.2 ボルト DDR4-SDRAM メモリモジュール
準拠	アンバッファード非 ECC DDR4-2667 MHz 準拠
ピン	JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している業界標準 260 ピン
サポート	CAS レイテンシ (DDR4 - 2667 MHz、15-15-15 タイミング) をサポートしている
スロット	2
最大メモリ	1 メモリスロットあたり 16 GB、合計 32 GB
サポート対象	4 ギガビットおよび 8 ギガビットの非 ECC メモリテクノロジー片面および両面 SODIMM
注	サポートされない SODIMM メモリが取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。x8 および x16 の DDR デバイスで構成された SODIMM がサポートされます。x4 SDRAM で構成されたメモリモジュールはサポートされません

HP では、このコンピューター用のアップグレードメモリを提供しています。サポートされていない他社のメモリとの互換性の問題を回避するために、HP が提供するメモリを購入することをおすすめします。

メモリ モジュール スロット への 取り付け

取り付けられているメモリ モジュールに応じて、システムは自動的にシングル チャンネル モード、デュアル チャンネル モード、またはフレックス モードで動作します。メモリ モジュールのチャンネルの位置については、以下の表を参照してください。

位置	システム ボード上の表記	チャンネル
下部ソケット	SODIMM1	チャンネル B
上部ソケット	SODIMM3	チャンネル A

取り付けられているメモリ モジュールに応じて、システムは自動的にシングル チャンネル モード、デュアル チャンネル モード、またはフレックス モードで動作します。

- 1つのチャンネルのスロットにのみメモリ モジュールが取り付けられている場合、システムはシングル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A のメモリ モジュールの合計メモリ容量とチャンネル B のメモリ モジュールの合計メモリ容量が等しい場合、システムはより高性能なデュアル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A のメモリ モジュールのメモリ容量とチャンネル B のメモリ モジュールのメモリ容量が異なる場合、システムはフレックス モードで動作します。フレックス モードでは、最も容量の小さいメモリが取り付けられているチャンネルがデュアル チャンネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングル チャンネルに割り当てられます。1つのチャンネルのメモリ容量が他方よりも多い場合は、多い方をチャンネル A に割り当てる必要があります。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いメモリ モジュールによって決定されます。

メモリ モジュールの取り付け

システム ボードには2つのメモリ スロットがあります。メモリ モジュールを着脱するには、以下の操作を行います。

1. アクセスパネルを取り外します。
手順については、[28 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。
2. [30 ページの内部部品的位置](#)を参照して、システム ボード上のメモリ モジュールの位置を確認します。
3. メモリ モジュールを取り出すには、メモリ モジュールの両側にある2つのラッチを外側に押し (1)、スロットからメモリ モジュールを引き出します (2)。



- 新しいメモリ モジュールを約 30°の角度でソケットに差し込み (1)、メモリ モジュールを押し下げて (2) ラッチを正しい位置に固定します。



注記：メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリ モジュールの切り込みとメモリスロットのタブを合わせます。

- アクセスパネルを取り付けなおします。
手順については、[29 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。
- コンピューターの電源を入れます。コンピューターの電源を入れたときに、増設したメモリが自動的に認識されます。

RTC（リアルタイムクロック）電池の交換

お使いのコンピューターに付属の RTC 電池は、リアルタイムクロックに電力を供給するためのものです。電池は消耗品です。電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。コンピューターに付属の電池は、3V のボタン型リチウム電池です。

警告！ お使いのコンピューターには、二酸化マンガン リチウム電池が内蔵されています。電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。けがをすることがないように、以下の点に注意してください。

- 電池を充電しないでください。
- 電池を 60°C を超える場所に放置しないでください。
- 電池を分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。

注意： 電池を交換する前に、コンピューターの CMOS 設定のバックアップを作成してください。電池が取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アース（接地）された金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

注記： リチウム電池の寿命は、コンピューターを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム電池は、コンピューターが外部電源に接続されていない場合にのみ使用されます。

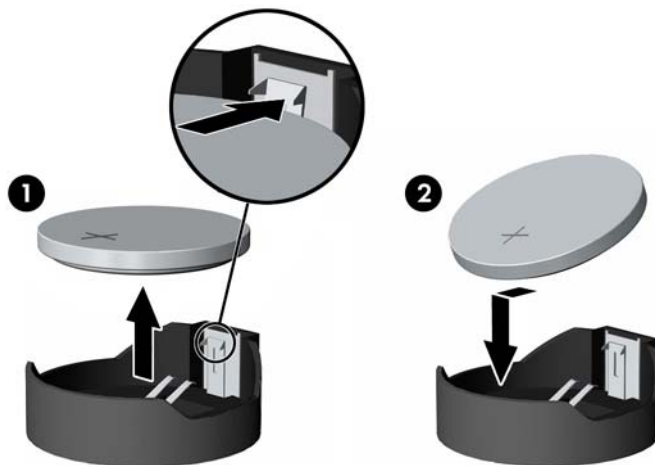
HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/>（英語サイト）を参照してください。

システムボード上の電池の位置については、[30 ページの内部部品の位置](#)を参照してください。

1. アクセスパネルを取り外します。

手順については、[28 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。

2. 電池をホルダーから取り出すために、電池の一方の端の上にある留め金を押し上げます。電池が持ち上がったら、ホルダーから取り出します (1)。
3. 新しい電池を装着するには、交換する電池を、[+]と書かれている面を上にしてホルダーにスライドさせて装着します。電池の一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます (2)。



4. アクセスパネルを取り付けなおします。

手順については、[29 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。

5. コンピューターの電源を入れます。
6. [コンピューターセットアップ (F10) ユーティリティ]を使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステムセットアップを設定しなおします。

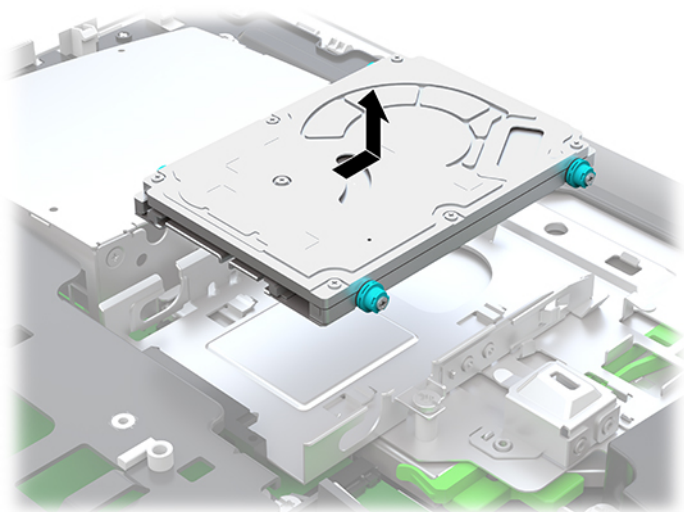
ドライブの交換

ハードディスクドライブの交換

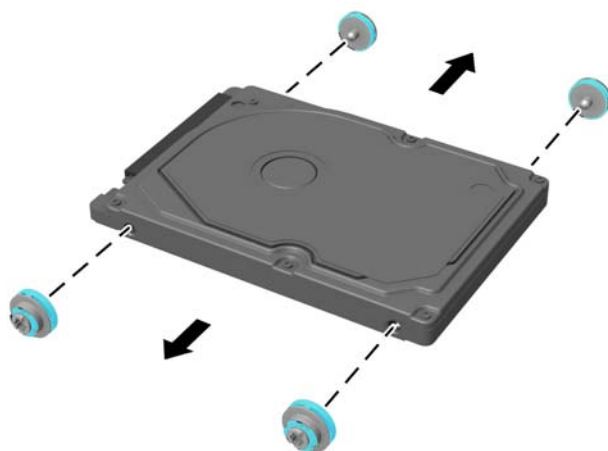
コンピューターの右側にあるオプティカルディスクドライブの上部に2.5インチのメインハードディスクドライブが取り付けられています。システムボード上のハードディスクドライブの位置については、[30 ページの内部部品の位置](#)を参照してください。

ハードディスクドライブの取り外し

1. アクセスパネルを取り外します。
手順については、[28ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。
2. ハードディスクドライブのラッチをハードディスクドライブから離す方向に引き、ドライブの固定を解除します (1)。
3. ハードディスクドライブをコンピューターの端に向かってスライドさせ、ハードディスクドライブをドライブケースから持ち上げます (2)。



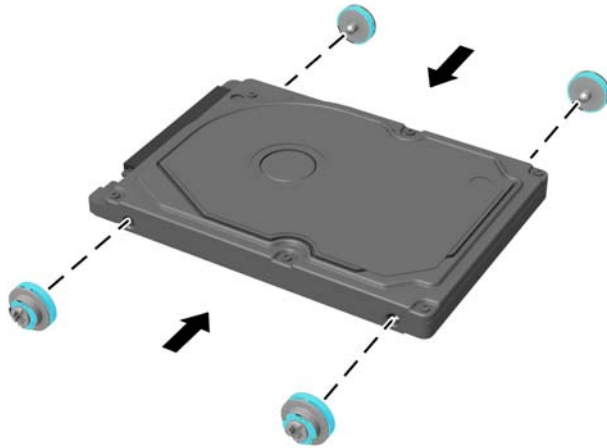
4. 2.5 インチハードディスクドライブから4本の取り付けネジを外します。交換用ドライブを取り付けるために使用する青色の耐振動用ゴムが、ネジに付いていることを確認してください。



ハードディスクドライブを取り付ける方法について詳しくは、[36ページの2.5インチハードディスクドライブの取り付け](#)を参照してください。

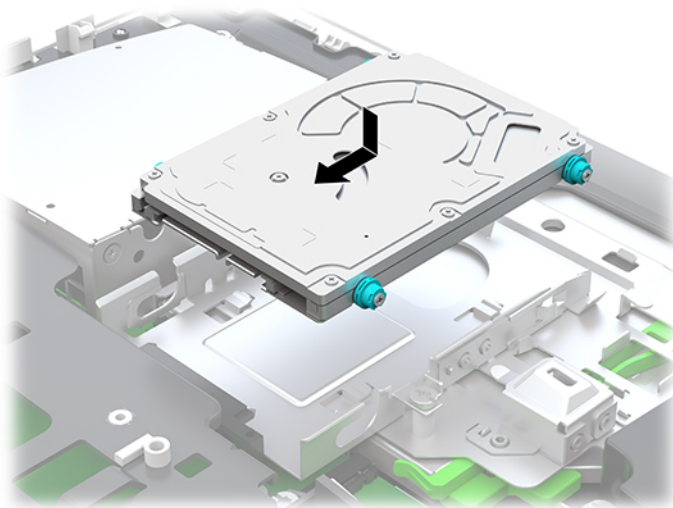
2.5 インチハードディスクドライブの取り付け

1. 耐振動用ゴムが付いた 4 本の取り付けネジを新しい 2.5 インチハードディスクドライブに取り付けます。



2. ハードディスクドライブのコンネクタがコンピューターの中央を向くように、ハードディスクドライブをドライブケースの上に置きます。
3. ハードディスクドライブをドライブケースに入れ、コンピューター中央に向かってしっかりとスライドさせて正しい位置に固定します (1)。

ハードディスクドライブのラッチが正しい位置に戻ったことを確認します。正しい位置に戻ると、ハードディスクドライブ側面の耐振動用ゴムがラッチで隠れます。



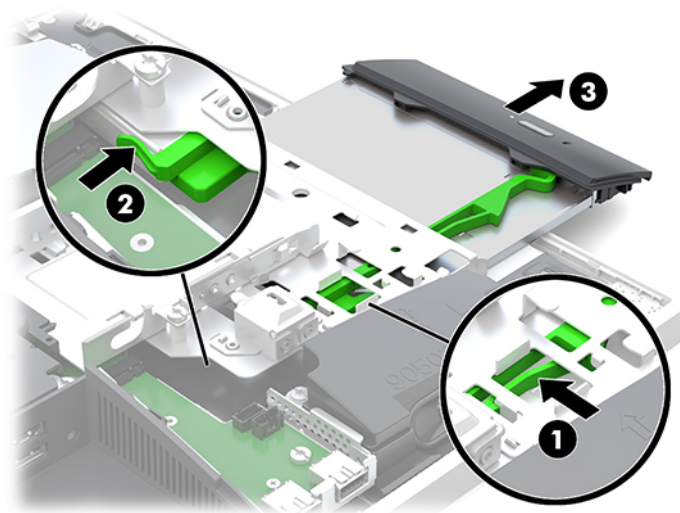
4. アクセスパネルを取り付けます。

手順については、[29 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。

光学ディスクドライブの交換

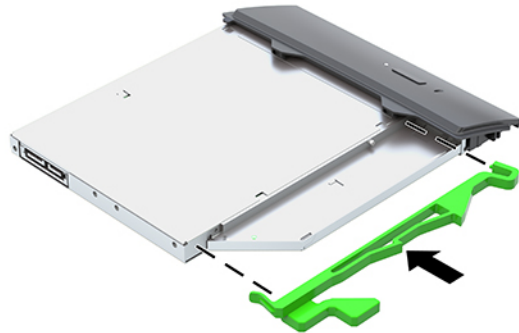
光学ディスクドライブは、コンピューターの右側にあるハードディスクドライブの下にあります。システムボード上の光学ディスクドライブの位置については、[30ページの内部部品の位置](#)を参照してください。


1. アクセスパネルを取り外します。
手順については、[28ページのコンピューターのアクセスパネルの取り外し](#)を参照してください。
2. ハードディスクドライブを取り外します。
手順については、[35ページのハードディスクドライブの取り外し](#)を参照してください。
3. 緑色のタブを押したまま (1)、光学ディスクドライブのエンクロージャの背面にある緑色のラッチを押し (2)、ドライブを外にスライドさせてシャーシから取り出します (3)。




4. 緑色のラッチを光学ディスクドライブから引き抜きます。
このラッチは、新しい光学ディスクドライブに取り付けるために保管しておいてください。

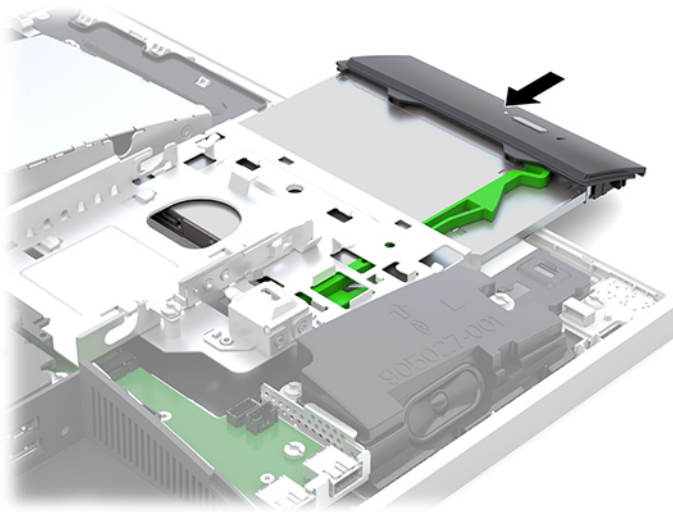
5. ラッチの3つのピンと新しいオプティカルディスクドライブの穴の位置を合わせ、ラッチを新しいドライブにしっかりと押し込みます。



 **注記：**元のオプティカルディスクドライブから取り外したラッチを再利用する必要があります。

6. 新しいオプティカルディスクドライブとコンピューター側面の開口部の位置を合わせます。ドライブが正しい位置に固定されるまで、ドライブをしっかりと押し込みます。

 **注記：**オプティカルディスクドライブは、一方向にのみ取り付け可能です。



7. ハードディスクドライブを取り付けなおします。
手順については、[36 ページの 2.5 インチ ハードディスクドライブの取り付け](#)を参照してください。
8. アクセスパネルを取り付けなおします。
手順については、[29 ページのコンピューターのアクセスパネルの取り付け](#)を参照してください。

A 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる場合があります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。


- 運搬時や保管時は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアース（接地）されている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アース（接地）の方法

静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアース（接地）を行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。


 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピューターおよびモニターの設置や手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、安定した平らな場所に設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面およびモニターの上部に、少なくとも 10 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなりますので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピューターのアクセスパネルまたは拡張カードスロットのカバーのどれかを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピューターどうしを近くに置いたりしないでください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- 通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールするか有効にしてください。
- コンピューターを清掃する場合は、必ず最初にコンピューターの電源をお切りください。
 - 電源コードを取り外すなどして外部電源を遮断します。
 - すべての外付けデバイスを取り外します。
 - コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。
 - 手入れに関する標準的なガイドラインに加え、ヘルスケアモデルの清掃では、以下の成分のどれかを含む除菌シートを使用して、コンピューターのすべての面を清掃します。ディスプレイから清掃を始めて、最後に柔軟性のあるケーブルを拭きます。コンピューターは、使用する前に自然乾燥させます。（詳しくは、除菌シートの製造元が提供している説明を参照してください。）

 **重要：**ベンゼン、シンナー、およびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをディスプレイ画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、ディスプレイが損傷するおそれがあります。

推奨される清掃用の成分

ベンジル-C12-18-アルキルジメチル塩化アンモニウム：0.1%未満、第4級アンモニウム化合物、C12-14-アルキル[(エチルフェニル)メチル]ジメチル、塩化物：0.1%未満

イソプロパノール：10～20%、ベンジル-C12-18-アルキルジメチル塩化アンモニウム：0.5%未満、第4級アンモニウム化合物、C12-18-アルキル[(エチルフェニル)メチル]ジメチル、塩化物：0.5%未満

第4級アンモニウム化合物、C12-18-アルキル[(エチルフェニル)メチル]ジメチル、塩化物：0.5%未満、ベンジル-C12-18-アルキルジメチル塩化アンモニウム：0.5%未満


イソプロピルアルコール：55%、アルキルジメチルベンジル塩化アンモニウム：0.25%、アルキル(68%がC12、32%がC14)ジメチルエチルベンジル塩化アンモニウム：0.25%

イソプロパノール：10～20%、エチレングリコールモノプチルエーテル(2-ブトキシエタノール)：1～5%、ジイソプチルフェノキシエトキシエチルジメチルベンジル塩化アンモニウム：0.1～0.5%

次亜塩素酸ナトリウム：0.1～1%

セルロース：10～30%、エチルアルコール：0.1～1%

イソプロパノール：30～40%、水：60～70%

 **注記：** コンピューターの清掃用としてテスト済みの推奨除菌シート製品については、HPの販売担当者にお問い合わせください。


警告！

- 認定されていない清掃方法または消毒剤を使用すると、デバイスが損傷するおそれがあります。
- デバイスを液体に浸さないでください。
- 必ず清掃用製品の製造販売元から提供されている説明に従ってください。
- アセトンなど石油系の洗浄液は使用しないでください。
- 研磨剤の入った清掃用製品は使用しないでください。
- 70℃を超える場所にデバイスを放置しないでください。

オプティカルディスクドライブの使用上の注意

オプティカルディスクドライブの操作や手入れは、以下の項目に注意して行ってください。


- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがありますので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があった場合は、1時間以上待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる場所、または機械の振動がある所には置かないでください。

 **注意：** ドライブの中に異物や液体が入ってしまった場合は、直ちにコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて、HPのサポート窓口にて点検を依頼してください。


運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブのファイルを外付け記憶装置にバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないように注意します。

 **注記：**ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピューターからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

 **注記：**コンピューター内部のボードについては、それぞれのスロットにしっかりとはめ込まれていることを確認します。


6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

C ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

- D**
DisplayPort ビデオ アダプター、接続 13
- F**
FHD Web カメラの各部 3
- M**
Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 7
- S**
SODIMM
位置 32
識別 32
仕様 31
- V**
VESA 準拠の取り付け穴 12
- W**
Web カメラ 22
FHD 3
Full High Definition 3
IR 3
Windows Hello 22
赤外線 3
操作 22
Windows Hello 22
- あ**
アースの方法 39
アクセスパネル
取り付け 29
取り外し 28
- う**
運搬時の注意 42
- お**
オプティカル ディスク ドライブ
交換 37
使用上の注意 41
- か**
回転 18
各部
前面 1,2
- き**
キーボード
機能 6
電池の取り外し 27
無線の同期 24
機能
概要 1
キーボード 6
- け**
警告および注意 26
ケーブル 13
接続 13
取り外し 14
- こ**
コネクタ カバー 15
取り付け 15
取り外し 15
コンピューター操作のガイドライン 40
コンピューターの取り付け 12
- し**
上面の各部 3
仕様、メモリ 31
シリアル番号 7
- す**
スタンド
位置調整 16
高さ調節可能、取り付け 10
高さ調節可能、取り外し 11
取り付けおよび取り外し 9
リクライニング、取り付け 9
リクライニング、取り外し 9
- せ**
前面の各部 1,2
- 静電気対策、損傷の防止 39
製品名および製品番号、コンピューター 7
赤外線 Web カメラの各部 3
セキュリティ
背面コネクタ カバー 15
背面コネクタ カバー、取り付け 15
背面コネクタ カバー、取り外し 15
セキュリティ ロック ケーブル 21
接続
ケーブル 13
ディスプレイ 13
電源コード 13
セットアップ、順序 8
- そ**
側面の各部 4
- た**
高さ調節可能なスタンド 10
調整 18
取り付け 10
取り外し 11
- つ**
追加情報 26
通気のガイドライン 40
- て**
ディスプレイの接続 13
電源
接続 21
切断 14,22
電源コード
接続 13
取り外し 14
電子ラベル 1
電池
交換 33
底面の各部 5

と

ドライブ

- 2.5 インチ、取り付け 36
- 2.5 インチ、取り外し 35
- オプティカルディスクドライブ、交換 37
- 種類 34

取り付け

- 2.5 インチハードディスクドライブ 36
- オプティカルディスクドライブ 37
- ガイドライン 26
- ディスプレイ 13
- 電池 33
- メモリ 32

取り外し

- 2.5 インチハードディスクドライブ 35
- オプティカルディスクドライブ 37
- ケーブル 14
- 電源コード 14
- 電池 33
- メモリ 32

な

内部部品 30

は

ハードディスクドライブ

- 2.5 インチ 34
- 2.5 インチ、取り付け 36
- 2.5 インチ、取り外し 35
- 交換 34
- 自己暗号化 34
- 種類 34
- ソリッドステート 34

背面コネクタカバー 15

- 取り付け 15
- 取り外し 15

背面の各部 5

へ

ヘッドフォン(オーディオ出力)コネクタ 4

ま

マウス

- 電池の取り外し 27
- 無線の同期 24

む

無線キーボードおよびマウスの同期 24

め

名称

- FHD Web カメラ 3
- 上面 3
- 赤外線 Web カメラ 3
- 側面 4
- 底面 5
- 内部 30
- 背面 5

メモリ

- SODIMM の仕様 31
- 最大 31
- 仕様 31
- スロット 31
- 取り付け 32
- 取り外し 32

ゆ

ユーザー サポート 43

ら

ラベル

- Certificate of Authenticity 7
- Microsoft Certificate of Authenticity 7
- 位置 7
- サービス 7
- シリアル番号 7
- 電子 1

り

リクライニングスタンド 9

- 調整 16
- 取り付け 9
- 取り外し 9

ろ

ロック

- セキュリティロックケーブル 21
- 背面コネクタカバー 15